

作成日：2006 年 7 月 1 日

改訂日：2015 年 1 月 30 日

安全データシート（SDS）

1. 化学品及び会社情報

製品名 クロスK

会社名 日新工業株式会社

住所 〒120-0025 東京都足立区千住東 2 丁目 23 番 4 号

担当部門 技術部

電話番号 048-755-6188 FAX 番号 048-755-6177

緊急連絡先 03-3882-2613 営業総務課

奨励用途及び使用上の制限 工業用（建築用クロス 等）

整理番号 NU-B002

2. 危険有害性の要約

重要な兆候及び想定される非常事態の概要

最重要危険有害性：

有害性： 通常の状態では人の健康に対する有害な影響は少ない。

環境影響： 通常の状態では環境に及ぼす影響は少ない。

物理的及び化学的危険性：

繊維性メッシュであり、発火、爆発の危険性はない。消防法の危険物には該当しないものの、指定可燃物に該当する原料を使用している。

特定の危険有害性： 特に情報無し。

GHS分類：分類基準に該当しない。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

化学名 ポリエチレンテレフタレート

一般名 ポリエステル繊維系メッシュ

成分	含有量 (%)	化学式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
ポリエチレンテレフタレート	98.5 以上	$[\text{CO}(\text{CH}_2\text{H}_4)\text{-COO}(\text{CH}_2)_2\text{O}]_n$	(7)-1022	25038-59-9

4. 応急措置

吸入した場合：

- 綿塵等の粉塵や熔融物等から発生するガスを吸った時は、直ちに新鮮な空気の場所に移し、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：

- ・ 熔融物の場合は直ちに大量の清浄な水で冷やす。皮膚上の固まった樹脂は無理に剥がさず、医師の診断を受けて下さい。
- ・ 粉塵等の場合は、清浄な水で良く洗い、不快感が残る場合は医師の診断を受ける。

目に入った場合：

- ・ 直ちに清浄な水で15分以上洗い、不快感が残る場合は医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：

- ・ 出来るだけ吐き出させ、異常がある場合は医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤：	水、二酸化炭素、泡消火剤、粉末消火剤が有効である。
特定の危険有害性：	不完全燃焼すると一酸化炭素、アセトアルデヒド等の有害ガスを発生する。
特定の消火方法：	消火作業は可能な限り風上から行う。
消火を行う物の保護：	大規模な火災の場合は呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：	人体に対する危険有害性は小さいと考えられるが、保護眼鏡や保護手袋等を用いて、直接皮膚などに触れないよう注意する。処理後は手や顔などを良く洗う。
環境に対する注意事項：	環境への影響は小さいが、長期間残留すると考えられるので環境中に廃棄しない。
除去方法：	箒や掃除機等で全量回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

技術的対策	取扱い者の暴露防止：素手では取り扱わない。 火災、爆発の防止：常温では引火性はないが、消防法指定可燃物であり、近くでみだりに火気を使用しない。
注意事項	粉塵の発生や溶融を伴う作業をするときは、局所排気、全体換気を行う。
安全取扱い注意事項	目に入らないように適切な保護具を着用する。 強酸化剤は素材が劣化し、濃硫酸、フェノール類などには溶融するので接触は避ける。

保管：

適切な保管条件

- ・ 火気、熱源から遠ざけて保管する。
- ・ 雨水や直射日光を避けるために防水シートで覆うこと。
- ・ 強酸化剤、濃硫酸、フェノール類と隔離して保管する。
- ・ 消防法指定可燃物であり、市町村条例に従う。（消火設備、屋内貯蔵、取扱所など）

安全な容器包装材料

推奨：不燃性容器

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策： 取り扱い場所の近くに手洗い・洗眼装置を設け、その位置を表示する。
換気装置を設置する。特に粉塵が発生する場合には局所排気装置を設置する。

管理濃度： 設定されていない。

許容濃度： 日本産業衛生学会（2005 年版） 設定されていない。
ACGIH（2005 年版） 設定されていない。

保護具

呼吸器用の保護具	粉塵が多い場合は粉塵マスクの着用が望ましい。
手の保護具	保護手袋を着用する。
目の保護具	粉塵が多い場合は反故メガネを着用する。
皮膚及び身体の保護具	保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状： 織布シート。

色： 白色。

臭い： 無臭。

pH： 該当しない。

物理的状态が変化する特定の温度／温度範囲：

融点／凝固点： データなし。

沸点： 製品 データなし。

初留点： データなし。

沸騰範囲： データなし。

引火点： 345～400℃。

発火点： 約480℃。

爆発特性： データなし。

蒸気圧： データなし。

蒸気密度： データなし。

比重： 1.35～1.40(密度 g/cm³)

溶解性： 水に不溶。

オクタノール／水分配係数： データなし。

分解温度： データなし。

その他のデータ：可燃性、着火元があれば燃える。

10. 安定性及び反応性

反応性： 高温では一部熱分解する。着火元があれば燃える。

化学的安定性： 常温、単独では安定である。

避けるべき材料： 高温、炎。

危険有害な分解生成物：不完全燃焼すると、一酸化炭素などの有害ガスを発生する恐れがある。

11. 有害性情報

急性毒性： 有害性はないと考えているが、具体的なデータなし。

12. 環境影響情報

生態毒性：

水性環境有害性： データなし。

残留性／分解性： 生分解性なく安定で、環境中に長期に残留すると考えられる。

生体蓄積性： データなし。

土壌中の移動性： データなし。

他の有害影響： 廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 廃棄物処理法の産業廃棄物に該当する。産業廃棄物処理業者もしくは地方公共団体が処理を引き受けている場合には地方公共団体に委託し、焼却する時には管理された焼却設備を用いて、廃棄物処理法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法等に従って処理する。

汚染容器・梱包： 残余廃棄物と同じ。

14. 輸送上の注意

国連分類： 設定されていない。

国連番号： 設定されていない。

国内規制： 設定されていない。

輸送の特定の安全対策及び条件：

重量物のため、転倒、落下がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。破袋のおそれがあるので、水濡れや、乱暴な取扱いはしない。

15. 適用法令

安衛法第57条の2第1項 該当なし

化学物質管理促進法 該当なし

消防法 指定可燃物（可燃性固体類）

廃棄法 産業廃棄物、廃プラスチック類に該当

16. その他の情報

主な引用文献

独立行政法人製品評価技術基盤機構（N I T E）ホームページG H S 分類結果データベース
原料メーカーのS D S

国際化学物質安全カード（I C S C）

製品安全データシートの作成指針（改訂版）日本規格協会(2001年10月)

日本工業規格 J I S Z 7253：2012 G H S に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法
危険物船舶運送及び貯蔵規則14訂版海文堂

クロスK

- (1) このデータシートは、製品に関する情報提供を目的としたものであって、その記載内容に関し、弊社が売主その他の立場で保証責任を負うものではありません。
- (2) このデータシートは、作成日又は改訂日までに弊社が入手した情報に基づいて作成しておりますが、記載内容は新しい知見又は法規制の変更等により改訂されることがあります。
- (3) このデータシートは通常想定される保管方法および取扱い方法の範囲における情報提供です。したがって、特殊な保管又は取扱いを行う場合は、その保管又は取り扱いに適した安全対策を実施の上ご利用下さい。
- (4) 本製品の貴社の用途に対する法規制、適合性及び安全性については、弊社では確認しておりませんので、調査又は試験により確認の上ご使用下さい。
- (5) 貴社において本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法等輸出関連法規を遵守の上、輸出してください。